2026 年度

基　本　資　料

まごころをキミに

一般社団法人　恵那青年会議所

JC ソング

1　JC　JC　JC
世界を結ぶ　若き団結
新しき世紀の　希望となりて
永遠に繁栄えん　我等の集い

2　JC　JC　JC
奉仕の理想　探求めつつ
祖国の進歩の　力となりて
先駆けゆかん　我等の集い

JCI Creed

The Creed of Junior Chamber International

We Believe;
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
And That service to humanity is the best work of life

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI Mission

To provide leadership development opportunities that empower young people to create positive change.

青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する。

JCI Vision

To be the foremost global network of young leaders.

青年会議所が、若きリーダーの国際的ネットワークを先導する組織となる。

JC 宣言文

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う。

綱領

われわれ JAYCEE は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう。

2026 年度　理事長所信

一般社団法人　恵那青年会議所
2026 年度　第 69 代理事長　纐纈　駿

スローガン

至誠
まごころをキミに

基本方針

・未来の地域のために
・組織は会員のために
・持続可能な組織のために
・未知の経験を掴むために
・次の 80 周年のために

【はじめに】

1958 年、全国 145 番目に創立した恵那青年会議所は 69 年目を迎えます。終戦から十余年、高度成長期初期に産声を上げた恵那青年会議所は、そろばん手書きの時代から、ポケットにパソコンを入れ世界と一瞬でつながることができる時代まで続いてきました。私が入会した 2016 年以降 10 年の内にも、働き方改革の推進、地球規模の環境変化、AI の活用、ウクライナ戦争、コロナ禍を経た社会構造の変化と、多岐にわたる大きな変化が起こりました。何の澱みもない安寧な時代はなく、いつの時代も何かによって混沌としているのだと感じます。青年会議所はいち早く時代の変化を捉え、様々な気づきの機会を与えることで今もなお青年経済人の学び舎として存在しています。

私が入会したきっかけは、知人から勧誘されたことと、会社の業績を向上させる機会が欲しいというありふれたものでした。入会当初はただただ例会や委員会に参加していました。自分では聞こうと思ったことのない講演が聴け、今までにない体験ができたため、「面白いなぁ」程度にしか思っていませんでした。

私の青年会議所への考え方が変わったのは、理事会に参加をしてからです。面倒なプロセスが多々あり、細かい資料の修正が多く、会議中には質問や意見が山のように出され、大変なところに来てしまったと思いました。それと同時に、自分が作成したモノに対してこれだけ真摯に向き合ってくれることはないと感じました。そして何より、今できうる最良の機会をどうしたら多くの人に提供でき、目的が達成できるのかを真剣に考える姿に驚きました。

青年会議所会員は、地域のために真剣になる瞬間をそれぞれがもっています。事業を構築しているときかもしれないし、事業を運営している瞬間かもしれません。真剣になるからこそ、多くの時間を使うこともあれば悔しい思いをすることもあります。だからこそ、私たちが費やす時間や努力は、本気の心の表れです。自分のためではなく地域のために本気の心で取り組む経験は誰しもに訪れるものではありません。この好機を自分に、社業に、家族に、社会に還元して明るい豊かな社会を実現するためにともに歩みましょう。

【未来の地域のために】

少子高齢化、地域経済の縮小など社会課題は山積しています。私がとりわけ問題だと思っていることは「恵那はええなぁ」と本気でいえる大人が少ないことです。この地が良いと思えるからこそ、もっと良くしたい、子ども達に良い状態で受け継いでいきたいと思えるのではないでしょうか。

よく恵那市の人から「恵那は何もない」と聞きます。果たしてそうなのか。「〇〇市は何もない」というのは全国各地でいわれることだと気がつくきっかけがありました。人口は恵那市の数倍、新幹線が停車し、海産物に恵まれ、分かりやすい観光地があるその市でも市民は「何もない」と捉えていました。これは、外から見てどうかではなく、自分がどう思うかでしか地域を表せられない人が多いからではないでしょうか。まずは、子ども達を導いていく大人が、誰しもが 1 つは持っているであろう「恵那はええなぁ」に気づき、良い地域だと真に思うこと。それこそが、地域を発展させるすべての根源となるはずです。

安心できる家族がいる、ともに暮らす仲間がいる、愛着のある場所がある、このような環境を受け継いだ子ども達が増えれば、この地域の未来はきっと明るいものになります。消滅可能性都市といわれている恵那市であっても、未来を明るくするチャンスは必ずあります。今を生きる私たちのためだけではなく、この地域で生活する未来の人々のために今動き出しましょう。

【組織は会員のために】

会員の意思で、時代に合った組織へと変えられることは青年会議所の特徴です。しかし、青年会議所という組織を進化させるのも劣化させるのも、会員自身の選択が招く結果でしかありません。

近年の恵那青年会議所は定款や規程の変更にとどまらず、運営手法の見直しなど様々な改善を行ってきました。特筆すべきは、組織を維持するための消極的変更ではなく、組織をより強化するための積極的な変更であることです。

手法の見直しというのは、時に簡素化や効率化ばかりに目が行きがちになってしまいます。青年会議所が青年経済人の学び舎として在り続けるためには、ただ楽になることを優先するのではなく、会員のためになるのかを念頭に置き、時代の変化とともに進化しなくてはなりません。

これから生まれる事業をより良いものとするために、持続可能な組織として会員を支えられる環境整備を行っていきましょう。

【持続可能な組織のために】

会員の増強がなぜ必要なのか。そう問われた時、昔の私は事業費が多い方が大きな事業ができ、人数が多いことにより波及効果が高いと考えていました。その考え方自体は間違っていなかったと思っていますが、今はどうか。人数が少なくても質の高い事業を提供することができ、同時に事業費が少なくてもやり方はあるということも学びました。それでもなお会員拡大は必要なのか。40 歳で定年を迎える青年会議所は会員の入れ替わりが早く、私たちが受けついできた知識や経験を切れ間なく次世代につないでいかなければなりません。そして、性別・年齢・国籍に関係なく多種多様な見識を取り込むことで広い視野を持つことが求められています。幸い恵那青年会議所は、会員間の隔たりが小さく、自由闊達に発言し合える雰囲気ができています。入会して長らくの間は自信を持って入会を勧められなかった私ですが今は違います。良い組織だから入会した方が良いと胸を張っていえます。

地域のために研鑽し合える仲間を、会員にとって学びの多い機会を、これからの会員達に提供し続けていくために、全員で会員の増強をしてまいりましょう。

【未知の経験を掴むために】

私自身は多くの出向機会に恵まれて、岐阜県内から日本青年会議所の委員会までたくさんの経験をすることができました。出向での出会いや経験は青年会議所の大きな魅力の一つだと感じ、毎年出向をしたいと思えるほどです。

出向で経験できることは、LOM で経験できることとは異なります。県内だけでも文化的な違い、考え方の違いが多くあります。日本全域まで含めたら、ありとあらゆる違いがあります。それでも変わらないことはあります。世界、日本、地域、LOM のためにより良い機会を提供できるよう、真剣に考え行動に移す多くの会員がいることです。

自分が手に入れたい経験は自分の想像の範囲でしかありません。どのような成長の機会があるか分からない、どれだけ自分のためになるのか分からない状況にあえて身を置くことで得られる経験は、予想を上回るものがきっとあります。

本年の恵那青年会議所は岐阜ブロック協議会を主管します。自分自身にとっても、県内各地の会員にとっても、予想を上回る経験をもたらせるよう、ALL 恵那青年会議所で取り組んでいきましょう。

【次の 80 周年のために】

2027 年に恵那青年会議所は 70 周年を迎えます。70 年間続いてきたことへの感謝の年であり次の 80 年に向けた始まりの年でもあります。60 周年を迎えたときには会員減少と景気の低迷により、70 周年は迎えられないかもしれないといわれていました。それでも現在、恵那青年会議所が存続しているのは意味があることだからです。青年経済人の学び舎として存続する意味を今一度見つめ直しましょう。

70 周年に向けた準備というのは、過去を振り返ることで次への課題を抽出することができる機会でもあります。青年会議所の特徴を捉え、次につなげていくための策を立てる。そのためには時間をかけてでも、会員の思いを同じくしていかなくてはいけません。これから迎えるであろう新たな仲間達のために、今年があったから 80 周年の時にはさらに大きく成長できた。そういえる組織を皆で作りましょう。

【結びに】

至誠にして動かざる者は　未だ之れ在らざるなり
（まごころをもって尽くせば、心動かない人はいない）

という言葉があります。

これは誰もが一度は経験したことがある感覚ではないでしょうか。

青年会議所は自己利益のために事業展開することはありません。それは、地域のため、組織のため、会員のために行うことばかりだからです。

一度しかないこの時に、どうせやるのであれば、理想を語り、誰かのため何かのためにやり切りましょう。

自分自身が本気の心で動けば、心動かない人はいないのだから。

2026 年度　一般社団法人恵那青年会議所　役員名簿

役　　員	氏　　名
理事長	纐纈　駿
直前理事長	古屋　一郎
監事	藤井　真也
監事	保母　達則
監事	山本　悠介
副理事長	柄澤　一樹
副理事長兼専務理事	山村　啓太
常務理事	磯村　悠太
常務理事	山田　健人
常務理事	寺澤　翔
人材開発委員会　委員長	坂　英世
人材開発委員会　副委員長	林　拓斗
人材開発委員会　副委員長	加藤　健佑
人材開発委員会　副委員長	阿部　港
地域開発委員会　委員長	吉村　成貴
地域開発委員会　副委員長	松井　稜
組織強靭化実行委員会　実行委員長	寺澤　翔
組織強靭化実行委員会　副実行委員長	松井　稜
70 周年準備室　室長	山田　健人
まつり連絡調整室　室長	山田　健人

一般社団法人恵那青年会議所 2026年度組織編成図(順不同/敬称略)

更新日 2026年01月07日

総会

総会員数 21名
外部監事 3名

*外部監事

監事
藤井 真也*
保母 達則*
山本 悠介*

理事会

(理事メンバー)
纐纈 駿
古屋 一郎
柄澤 一樹
山村 啓太
磯村 悠太
山田 健人
寺澤 翔
坂 英世
吉村 成貴
林 拓斗
加藤 健佑
阿部 港
松井 稜

直前理事長
古屋 一郎

理事長
纐纈 駿

副理事長
柄澤 一樹

専務理事
山村 啓太

人材開発委員会
委員長 坂 英世
副委員長(渉外担当) 林 拓斗
副委員長(事務局担当) 加藤 健佑
副委員長(財務担当) 阿部 港
常務理事 磯村 悠太
常務理事 寺澤 翔
委員 西尾 純平
委員 伊藤 真梨那
委員 可知 正考
委員 今井 俊彰

副理事長
山村 啓太

地域開発委員会
委員長 吉村 成貴
副委員長 松井 稜
常務理事 山田 健人
委員 橋本 朋和
委員 中島 悠然
委員 高木 豪中
委員 伊佐地 翔太

常務理事
磯村 悠太
山田 健人
寺澤 翔

理事長直轄室

組織強靭化実行委員会
実行委員長 寺澤 翔
副実行委員長 松井 稜

まつり連絡調整室
室長 山田 健人

70周年準備室
室長 山田 健人

祝賀会担当
林 拓斗

記念誌制作担当
坂 英世

70周年記念事業担当
山村 啓太

一般社団法人恵那青年会議所 2026年度 年間スケジュール

更新日 2025年12月3日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JCI 日本本会	22～ 第1回総会 25 京都会議 （京都）		28 第2回総会 （東京）			11～ JCI ASPAC 14 （新潟）	18～ サマーコンファレンス 19 （横浜）			1～ 第3回総会 4 全国大会 （神戸）	11～ JCI世界会議 15 （クラーク）	
東海地区協議会	23 第1回 会員会議所会議 （京都）					27 第2回 会員会議所会議 （鈴鹿）			20 東海コンファレンス （松坂）		24 第3回 会員会議所会議 （名古屋）	
岐阜ブロック協議会	30 第1回 会員会議所会議 （恵那）	7 岐阜会議 （岐阜）	2 第2回 会員会議所会議 （西濃） 24 会頭公式訪問 24 経営者セミナー	11 第3回 会員会議所会議 （中濃）	23 第4回 会員会議所会議 （飛騨）			29 第5回 会員会議所会議 （中津川）	6 岐阜ブロック大会 （中津川）		21 第6回 会員会議所会議 （美濃）	
例　　会	9日(金)	12日(木)	9日(月)	10日(金)	11日(月)	10日(水)	26日(日)	7日(金)	12日(土)	10日(土)	9日(月)	12日(土)
人材開発委員会				●					●			
地域開発委員会			●				●					●
会員拡大実行委員会						●						
70周年準備室					●						●	
執行部	●	●						●		●		
例会及び事業名	通常総会 16 新年祝賀会	2月度例会 中津川・恵那合同例会	3月度例会 東濃会議	4月度例会	5月度例会	6月度例会	7月度例会	臨時総会	9月度例会 みのじのみのり祭 26日(土)～27日(日)	10月度例会	11月度例会	12月度例会 卒業例会
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
常任理事会	12月26日(金)	1月20日(火)	2月16日(月)	3月16日(月)	4月16日(木)	5月15日(金)	6月16日(火)	7月16日(木)	8月17日(月)	9月16日(水)	10月16日(金)	12月11日(金)
理　事　会	1月7日(水)	2月2日(月)	3月3日(火)	4月2日(木)	5月1日(金)	6月2日(火)	7月2日(木)	8月3日(月)	9月2日(水)	9月30日(水)	11月2日(月)	12月22日(木)

●・・・例会　○・・・事業

2026 年度　出向者一覧

東海地区協議会（DC）		
副会長（岐阜 BC 担当）		古屋　一郎
持続可能な未来創造委員会	委員	西尾　純平
持続可能な未来創造委員会	委員	山田　健人
岐阜ブロック協議会（BC）		
会長		古屋　一郎
運営専務		柄澤　一樹
事務局長		磯村　悠太
財政局長		阿部　港
組織連携推進会議	委員	可知　正考
アカデミー委員会	委員	今井　俊彰
岐阜ブロック大会 2026 実行委員会	委員	松井　稜
事務局	事務局員	林　拓斗
事務局	事務局員	寺澤　翔
事務局	事務局員	加藤　健佑

担当監事割振り表

監　事　藤井　真也 （1）　執行部
監　事　保母　達則 （1）　地域開発委員会 （2）　70 周年準備室
監　事　山本　悠介 （1）　人材開発委員会 （2）　組織強靭化実行委員会

スポーツ振興委員会

委員長　西尾　純平 じゃがいも、野球、その他スポーツ及び会員の健康促進する

一般社団法人恵那青年会議所　2026 年度委員会職務分掌

1.　地域開発委員会
(1)　地域開発に関する例会及び事業の実施
(2)　会員拡大運動の実施
(3)　(一社)恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
(4)　その他

2.　人材開発委員会
(1)　人材開発に関する例会及び事業の実施
(2)　諸会議における会議資料の作成、チェック及び取りまとめ
(3)　諸会議の設営、運営、庶務(財務、コンプライアンス審査含む)
(4)　(一社)恵那青年会議所の渉外活動
(5)　(一社)恵那青年会議所の広報記録活動
(6)　(一社)恵那青年会議所の総務及び財務に関する一切
(7)　総会の設営、運営
(8)　会員拡大運動の実施
(9)　(一社)恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
(10)　その他

3.　執行部
(1)　総会の開催
(2)　理事長直轄室の支援
(3)　基本資料の作成
(4)　会員拡大運動の実施
(5)　(一社)恵那青年会議所の運営に関する一切
(6)　その他

4.　組織強靭化実行委員会
(1)　組織強靭化に関する例会及び事業の実施
(2)　会員拡大運動の企画･推進及び実施
(3)　新入会員の補助及び指導
(4)　岐阜ブロック協議会アカデミー委員会との連携
(5)　その他

5.　70 周年準備室
(1)　70 周年記念式典の企画
(2)　70 周年記念事業の企画
(3)　70 周年開催に向けた例会の実施
(4)　その他

6.　まつり連絡調整室
(1)　みのじのみのり祭実行委員会との連携･連絡･運営の一切
(2)　その他

2026 年度　副理事長・専務理事　基本方針

副理事長　柄澤　一樹

恵那青年会議所は、青年経済人の学び舎として 69 年にわたり、人材の育成と地域の発展に努めてきました。その歩みは、地域のために真剣に向き合い続けた先輩諸氏の情熱の歴史であり、恵那をより良くしたいという想いの積み重ねです。しかし、その志は入会してすぐに身につくものではなく、研鑽を重ねてこそ培われるものです。

私たちはこの想いを引き継ぎ、会員の共感を原動力として地域に運動を展開していく必要があります。まちの未来は偶然によって築かれるものではなく、地域に誇りを持ち、本気で向き合う人々の努力によって明るくなります。私自身もこれまでの歩みに甘んじることなく、挑戦の機会を創出し、会員の成長を促し、多様な仲間を受け入れることで、持続可能な組織と地域を築いてまいります。

まごころを持って仲間とともに歩む限り、切り拓けない未来はありません。会員はもちろん、多くの人々の心を動かしながら、活動に全力を尽くしてまいります。

副理事長兼専務理事　山村　啓太

恵那青年会議所がこれまで以上に飛躍するためには、会員一人ひとりが積極的に挑戦できる土壌作りが必要です。そのために、青年会議所で得られる多くの機会を各会員が最大限に活用できるよう、まごころを持って働きかけ、会員同士が積極的な参加を促しあえる環境を築き上げます。

様々な機会を得ることで多様な考えに触れ、地域の課題に気づき、解決しようと本気で取り組むことができます。本気で取り組み考え抜くからこそ、やり遂げたという達成感の先に自信と誇りが芽生えると考えます。

自信や誇りはさらなる挑戦への原動力となります。個々の挑戦は組織を活性化し、魅力的な事業を展開することができます。そして、事業を通して私たちの想いが地域へと伝播し「恵那はええなぁ」と皆が思えるまち創りを地域と共に行えると確信しております。

まごころと挑戦の輪を会員へ、組織へ、そして地域へと拡げられるよう、一年間邁進してまいります。

2026 年度　委員会基本方針及び事業計画

地域開発委員会　委員長　吉村　成貴

恵那市を明るく持続可能な地域とするためには、人々が地域へ愛着と誇りをもつことが必要です。

私が、家族とともに恵那市に移住して感じたことは、思いやり、助け合い、信頼といった心の温かさをもった人々が、祭りや行事などを通じてふれあい、ともに喜び、育つという「地域の力」が感じられる魅力あるまちだということです。こうした魅力を磨き、世代や立場を超えて共鳴し、誇りをもって引き継ぐことで持続可能な明るい未来を創ります。

恵那青年会議所の会員一人ひとりが、こうした魅力に真摯に向き合い、持続可能な地域とするための課題を追及し、探求し、行動することで未来への愛着のある場所を創ることを可能にします。私たちは人や地域を愛する先導者として、地域の人々に「恵那はええなぁ」と気づく運動や、恵那市への愛郷心を育む機会を提供します。さらには、地域に誇りを持つ人々が増えるよう、未来の地域発展のために考え、行動します。

【事業開催計画】　（単位：円）

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
3 月度例会	03 月 11 日 （水曜日）	恵那市内	恵那青年会議の会員が、恵那市へ愛着や誇りを持つことを目的とする。	0
7 月度例会	07 月 26 日 （日曜日）	恵那市内	地域の交流を通じて、愛着のある地域として、誇りを持って行動できる人を増やすことを目的とする。	300,000
12 月度例会	12 月 05 日 （土曜日）	恵那市内	恵那青年会議所の全員がまごころ（至誠）をもって卒業生を送り出すことを目的とします。	150,000
事業費合計				450,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第 1 回予定者委員会	11 月 13 日 （木曜日）	恵那市内	理事長所信について 委員会活動方針について 年間スケジュールについて 職務分掌について 通常総会・新年祝賀会について
第 2 回予定者委員会	12 月 17 日 （水曜日）	恵那市内	通常総会・新年祝賀会について 委員会活動方針について 3 月度例会について
第 1 回委員会	01 月 14 日 （水曜日）	恵那市内	3 月度例会について
第 2 回委員会	02 月 04 日 （水曜日）	恵那市内	3 月度例会について
第 3 回委員会	03 月 04 日 （水曜日）	恵那市内	3 月度例会について 7 月度例会について
第 4 回委員会	04 月 08 日 （水曜日）	恵那市内	3 月度例会の振返り 7 月度例会について
第 5 回委員会	05 月 07 日 （木曜日）	恵那市内	7 月度例会について
第 6 回委員会	06 月 10 日 （水曜日）	恵那市内	7 月度例会について
第 7 回委員会	07 月 08 日 （水曜日）	恵那市内	7 月度例会について
第 8 回委員会	08 月 05 日 （水曜日）	恵那市内	7 月度例会の振返り
第 9 回委員会	09 月 09 日 （水曜日）	恵那市内	12 月度例会について
第 10 回委員会	10 月 07 日 （水曜日）	恵那市内	12 月度例会について
第 11 回委員会	11 月 11 日 （水曜日）	恵那市内	12 月度例会について
第 12 回委員会	12 月 09 日 （水曜日）	恵那市内	12 月度例会について

人材開発委員会　委員長　坂　英世

ある場にいることと、そこへ帰属意識を覚えるかはイコールではなく、「私はここの一員だ」と感じられてこそ、仲間や場を思いやる行動にもつながります。「何もない」と思われがちな中で地域を思う仲間が増えていくためには、真剣でありながら気軽でいられる人の輪が必要です。人の輪であり人の和となるような、まごころが育まれる場を広げる取り組みに挑戦します。

青年会議所もまた貴重な人の輪であり、会員が本気の心を養う経験を支える学び舎として、強固な組織でありつつ、柔軟な運営である必要があります。ここで学ぶ仲間が地域や連携組織のために力を発揮できるよう、進化のための変化に対応しながら、至誠に運営に努めてまいります。

青年経済人として、自分以外のために力を尽くせる人材として、私たちにしかできないことがあるはずです。「本気になれることは誇らしい」と私たち自身が思え、まごころを表現できる場であるよう、この一年を全うします。

【事業開催計画】　（単位：円）

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
4 月度例会	04 月 10 日 （金曜日）	恵那市内	会員が自分以外のために行動できる人材になることを目的とする。	50,000
9 月度例会	09 月 12 日 （土曜日）	恵那市内	人の輪を広げ、人の和を通じてまごころを持つ仲間が増えることを目的とする。	250,000
情報発信 運用計画	通年	各媒体	恵那青年会議所の組織及び活動を発信し、広く認知・共感を得ることを目的とする。	0
事業費合計				300,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第 1 回予定者委員会	11 月 27 日 （木曜日）	恵那市内	理事長所信について 職務分掌について 委員会基本方針について
第 2 回予定者委員会	12 月 18 日 （木曜日）	恵那市内	年間スケジュールについて 委員会事業計画・フローチャートについて 情報発信運用計画について
第 1 回委員会	01 月 08 日 （木曜日）	恵那市内	1 月度例会について 4 月度例会について
第 2 回委員会	02 月 03 日 （火曜日）	恵那市内	2 月度例会について 4 月度例会について
第 3 回委員会	03 月 03 日 （火曜日）	恵那市内	4 月度例会について
第 4 回委員会	04 月 03 日 （金曜日）	恵那市内	4 月度例会について
第 5 回委員会	05 月 06 日 （水曜日）	恵那市内	4 月度例会の振り返り
第 6 回委員会	06 月 03 日 （水曜日）	恵那市内	9 月度例会について
第 7 回委員会	07 月 03 日 （金曜日）	恵那市内	9 月度例会について
第 8 回委員会	08 月 04 日 （火曜日）	恵那市内	臨時総会について 9 月度例会について
第 9 回委員会	09 月 03 日 （木曜日）	恵那市内	9 月度例会について
第 10 回委員会	10 月 05 日 （月曜日）	恵那市内	9 月度例会の振り返り
第 11 回委員会	11 月 04 日 （水曜日）	恵那市内	情報発信運用計画の振り返り
第 12 回委員会	12 月 03 日 （木曜日）	恵那市内	2026 年度総括・引継について

組織強靭化実行委員会　実行委員長　寺澤　翔

恵那青年会議所は、活発な交流と建設的な議論を通じ、互いを高め合える強みをもった組織です。この強みと、先輩諸氏が築き上げてきた伝統と志は、かけがえのない財産です。私たちはこれを確実に継承しつつ、活動で得た学びを次世代へとつないでいく必要があります。そのために、多様な人々との接点を広げ、恵那青年会議所の魅力や成長の機会を丁寧に伝えることで、ともに歩みたいと感じてもらえる人材の入会につなげてまいります。

入会後は、新入会員が自らの成長を実感できるよう、組織全体で寄り添い、積極的な参加を促す環境を整えます。次世代の恵那青年会議所を担う人材として、挑戦する姿勢を後押しし、組織の持続的な発展につながる好循環を生み出します。

私は候補者や会員一人ひとりにまごころを込めて向き合い、ともに歩む姿勢を大切にしながら、恵那青年会議所をより強靭で魅力ある組織へと進化させてまいります。

【事業開催計画】　（単位：円）

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
会員拡大運動	通年	恵那市内	青年会議所活動に共感していただき、ともに高めあえる仲間に入会していただくことを目的とする。	0
新入会員のフォロー	通年	恵那市内	強靭な組織を作るために新入会員の成長を促すことを目的とする。	0
6 月度例会	06 月 10 日（水曜日）	恵那市内	強靭な組織を作るために会員一人ひとりの成長を促すことを目的とする。	10,000
事業費合計				10,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第 1 回予定者委員会	11 月 25 日 （火曜日）	恵那市内	会員拡大について
第 2 回予定者委員会	12 月 17 日 （水曜日）	恵那市内	会員拡大について
第 1 回委員会	01 月 20 日 （火曜日）	恵那市内	会員拡大について
第 2 回委員会	02 月 17 日 （火曜日）	恵那市内	会員拡大について
第 3 回委員会	03 月 18 日 （水曜日）	恵那市内	6 月度例会について 会員拡大について
第 4 回委員会	04 月 15 日 （水曜日）	恵那市内	6 月度例会について 会員拡大について
第 5 回委員会	05 月 20 日 （水曜日）	恵那市内	6 月度例会について 会員拡大について
第 6 回委員会	06 月 17 日 （水曜日）	恵那市内	6 月度例会振り返り 会員拡大について
第 7 回委員会	07 月 15 日 （水曜日）	恵那市内	会員拡大について
第 8 回委員会	08 月 26 日 （水曜日）	恵那市内	会員拡大について 新入会員アトラクション説明について
第 9 回委員会	09 月 16 日 （水曜日）	恵那市内	会員拡大について
第 10 回委員会	10 月 21 日 （水曜日）	恵那市内	会員拡大について
第 11 回委員会	11 月 18 日 （水曜日）	恵那市内	会員拡大について
第 12 回委員会	12 月 16 日 （水曜日）	恵那市内	会員拡大について

70 周年準備室　室長　山田　健人

2027 年、恵那青年会議所は創立 70 周年の節目の年を迎えます。いつの時代も「明るい豊かな社会」を実現するために、様々な運動が行われてきました。私たちは、改めて 69 年分の想いを受け継ぎ、来たる 70 周年に向けて事業を構築していきます。

今まで恵那青年会議所を支えてくださった皆様に感謝を伝える場の準備をしていくとともに、これまで行われた先輩諸氏の運動に想いを巡らせることで、青年会議所の特徴とこれまで存続してきた意味を掴み、皆で共有していきます。共有した先には、今後の課題が見えてきます。全会員がこの課題に真摯に向き合い、次世代の新たな仲間達が、次の 80 周年を迎えられるよう行動をしていくことは、より恵那青年会議所と会員が大きく成長できる機会であると確信しています。

70 周年準備室を通して、この節目の年を私たちの成長の糧とし、次世代に向けて想いを紡ぎ、「明るい豊かな社会」を実現するために邁進する土壌を作ってまいります。

【事業開催計画】　（単位：円）

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
5 月度例会	05 月 11 日 （月曜日）	恵那市内	70 周年に向けたキックオフの日として今までの活動を振り返ることを目的とする。	10,000
11 月度例会	11 月 09 日 （月曜日）	恵那市内	70 周年を成功に導くこと目的とする。	90,000
70 周年準備	通年		70 周年を見据えた準備をすることを目的とする。	0
事業費合計				100,000

【委員会開催計画】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第 1 回予定者委員会	12 月 17 日 （水曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 5 月度例会について
第 1 回委員会	01 月 15 日 （木曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 5 月度例会について
第 2 回委員会	02 月 19 日 （木曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 5 月度例会について
第 3 回委員会	03 月 19 日 （木曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 5 月度例会について
第 4 回委員会	04 月 17 日 （金曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 5 月度例会について
第 5 回委員会	05 月 08 日 （金曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 5 月度例会について
第 6 回委員会	06 月 19 日 （金曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について
第 7 回委員会	07 月 16 日 （木曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について
第 8 回委員会	08 月 19 日 （木曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 11 月度例会について
第 9 回委員会	09 月 17 日 （木曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 11 月度例会について
第 10 回委員会	10 月 16 日 （金曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 11 月度例会について
第 11 回委員会	11 月 06 日 （水曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 11 月度例会について
第 12 回委員会	12 月 18 日 （金曜日）	恵那市内	70 周年祝賀会について 70 周年記念事業について 11 月度例会の反省と振り返り

一般社団法人恵那青年会議所 正味財産増減予算書

2026年1月1日から2026年12月31日まで

2025年12月3日 現在

科　目　名	2026年度予算	2025年度 第二次補正予算	増　減	備　考
Ⅰ一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①特定資産運用益	**0**	**0**	**0**	
特定資産利息	(0)	(0)	(0)	
②受取会費	**2,700,000**	**3,650,000**	**△ 950,000**	
正会員会費	2,400,000	3,010,000	△ 610,000	
基本金	(2,400,000)	(2,640,000)	(△ 240,000)	120,000×20名
新入会員（　）	(0)	(120,000)	△ 120,000	
新入会員（　）	(0)	(120,000)	△ 120,000	
新入会員（　）	(0)	(80,000)	△ 80,000	5～12月
新入会員（　）	(0)	(50,000)	△ 50,000	8～12月
新入会員（　）	(0)	(50,000)	△ 50,000	8～12月
退会者（　）	(0)	(△ 50,000)	50,000	期中での退会
その他	(0)	(40,000)	△ 40,000	期中での復帰（三宅美涼 9～12月）
準会員会費	(120,000)	(120,000)	(0)	120,000×1名
特別会員会費	(180,000)	(90,000)	(90,000)	30,000×6名(2025年度卒業生)
賛助会員会費	0	430,000	△ 430,000	
個人	(0)	(10,000)	(△ 10,000)	10,000×1名
法人	(0)	(420,000)	(△ 420,000)	30,000×14社
③事業収益	**0**	**670**	**△ 670**	
事業繰入収益	(0)	(0)	(0)	
登録料収益	(0)	(0)	(0)	
懇親会収益	(0)	(0)	(0)	
広告料収益	(0)	(0)	(0)	
販売収益	(0)	(0)	(0)	
預り金収益	(0)	(0)	(0)	
雑収益	(0)	(670)	(△ 670)	JCIカード/スマイル
④受取補助金等	**248,000**	**248,000**	**0**	
国庫補助金	(0)	(0)	(0)	
地方公共団体補助金	(0)	(0)	(0)	
補助金等交付業務受託金	(0)	(0)	(0)	
国庫助成金	(0)	(0)	(0)	
地方公共団体助成金	(0)	(0)	(0)	
民間助成金	(248,000)	(248,000)	(0)	OB会事務手数料
⑤受取負担金	**0**	**0**	**0**	
受取負担金	(0)	(0)	(0)	
⑥受取寄付金	**0**	**0**	**0**	
受取寄付金	(0)	(0)	(0)	
受取募金	(0)	(0)	(0)	
⑦雑収益	**0**	**0**	**0**	
受取利息収益	(0)	(0)	(0)	
その他雑収益	(0)	(0)	(0)	
⑧他会計からの繰入金			**0**	
日本JC本体会計からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
地区・ﾌﾞﾛｯｸ協議会からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
他会計からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
経常収益計	**2,948,000**	**3,898,670**	**△ 950,670**	
(2) 経常費用				
①事業費	**950,000**	**1,236,000**	**△ 286,000**	
2026年度事業費	950,000		950,000	
執行部	(90,000)		(90,000)	
人材開発委員会	(300,000)		(300,000)	
地域開発委員会	(450,000)		(450,000)	
組織強靭化実行委員会	(10,000)		(10,000)	
70周年準備室	(100,000)		(100,000)	
2025年度事業費		1,236,000		
執行部		(69,000)		
未来創造委員会		(300,000)		
地域の魅力発信委員会		(600,000)		
会員拡大実行委員会		(200,000)		卒業例会
アカデミー実行委員会		(0)		
DC・BC連携実行委員会		(67,000)		6・9月度例会
委員会運営費	(0)	(0)	(0)	
事業予備費	(0)	(0)	(0)	
②管理費	**1,281,000**	**1,333,000**	**△ 52,000**	
会議費	(0)	(0)	(0)	
給料手当	(0)	(0)	(0)	
俸給	(0)	(0)	(0)	
手当	(0)	(0)	(0)	
臨時雇用賃金	(0)	(0)	(0)	
退職給付手当	(0)	(0)	(0)	
福利厚生費	(0)	(0)	(0)	
法定福利費	(0)	(0)	(0)	
福利費	(0)	(0)	(0)	
厚生費	(0)	(0)	(0)	
旅費交通費	(30,000)	(30,000)	(0)	各種大会レンタカー・ガソリン代補助
通信運搬費	(160,000)	(160,000)	(0)	
電話代	(80,000)	(80,000)	(0)	
運搬代	(0)	(0)	(0)	
Webサービス利用料	(30,000)	(30,000)	(0)	Google Workspace Individual、Notta
その他通信費	(50,000)	(50,000)	(0)	十六銀行データ通信費、オンラインFAX、電報
減価償却費	(0)	(0)	(0)	
図書・研修費	(0)	(0)	(0)	
消耗品費	(30,000)	(30,000)	(0)	LOMスローガン、事務用品
リース料	(0)	(0)	(0)	
修繕費	(0)	(0)	0)	
印刷製本費	(0)	(0)	(0)	
光熱水料	(0)	(0)	(0)	
賃借料	(726,000)	(726,000)	(0)	賃料55,000×12ヶ月 共益費5,500×12ヶ月

科　目　名	2026年度予算	2025年度 第二次補正予算	増　減	備　考
業務委託費	(200,000)	(200,000)	(0)	ホームページ管理、法人変更登記
保険料	(0)	(0)	(0)	
租税公課	(22,000)	(22,000)	(0)	
固定資産税	(0)	(0)	(0)	
その他の租税公課	(22,000)	(22,000)	(0)	法人県民税
広告宣伝費	(0)	(0)	(0)	
渉外費	(50,000)	(100,000)	(△ 50,000)	慶弔費・渉外費
支払手数料	(30,000)	(30,000)	(0)	
雑費	(30,000)	(30,000)	(0)	理事長記念品費等
管理・運営予備費	(3,000)	(5,000)	(△ 2,000)	
③負担金	**716,005**	**1,096,245**	**△ 380,240**	
日本JC会費 JCI会費	(43,680)	(60,320)	(△ 16,640)	2,080（US$13×¥160）×21名
日本JC会費 基本金	(30,000)	(30,000)	(0)	50名まで　25名増加毎＋15,000
日本JC会費 附加金	(105,000)	(145,000)	(△ 40,000)	5,000×21名
日本JC会費 JC会館建替協力金	(31,500)	(43,500)	(△ 12,000)	1,500×21名
WE BELIEVE 購読料	(31,500)	(43,500)	(△ 12,000)	1,500×21名
日本じゃがいもクラブ	(20,000)	(20,000)	(0)	
日本JC国際協力資金	(38,325)	(52,925)	(△ 14,600)	365×5×21名
京都会議LOM登録料	(8,000)	(8,000)	(0)	
東海地区協議会 基本金負担金	(52,500)	(72,500)	(△ 20,000)	2,500×21名
岐阜ブロック会費 基本額	(18,000)	(18,000)	(0)	
岐阜ブロック会員 附加金	(105,000)	(145,000)	(△ 40,000)	5,000×21名
岐阜ブロック会費 役員負担金	(0)	(0)	(0)	
岐阜ブロック会員 大会負担金	(52,500)	(72,500)	(△ 20,000)	2,500×21名
岐阜ブロック野球大会登録料	(20,000)	(20,000)	(0)	
岐阜ブロックサッカー大会登録料	(0)	(25,000)	(△ 25,000)	
岐阜ブロックじゃがいも大会登録料	(10,000)	(10,000)	(0)	
中山道駅伝	(10,000)	(10,000)	(0)	
恵那市国際交流協会	(20,000)	(20,000)	(0)	
出向者への支援金	(120,000)	(0)	(120,000)	委員長以上の場合に支給　交通費等
70周年記念事業への積立金	(0)	(300,000)	(△ 300,000)	
④他会計への繰入金	**0**	**0**	**0**	
日本JC本体会計への繰入金	(0)	(0)	(0)	
地区・ブロック協議会への繰入金	(0)	(0)	(0)	
消費税負担金	(0)	(0)	(0)	
外部監査負担金	(0)	(0)	(0)	
会計ソフト負担金	(0)	(0)	(0)	
その他繰入金	(0)	(0)	(0)	
	(0)	(0)	(0)	
経常費用計	**2,947,005**	**3,665,245**	**△ 718,240**	
評価損益等調整前当期経常増減額	**0**	**0**	**0**	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	**995**	**233,425**	**△ 232,430**	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
①固定資産売却益	**0**	**0**	**0**	
建物売却益	(0)	(0)	(0)	
構築物売却益	(0)	(0)	(0)	
什器備品売却益	(0)	(0)	(0)	
②固定資産受贈益	**0**	**0**	**0**	
経常外収益計	**0**	**0**	**0**	
(2) 経常外費用				
①固定資産売却損	**0**	**0**	**0**	
②固定資産除却損	**0**	**0**	**0**	
什器備品除却損	(0)	(0)	(0)	
経常外費用計	**0**	**0**	**0**	
当期経常外増減額	**0**	**0**	**0**	
当期一般正味財産増減額	**995**	**233,425**	**△ 232,430**	
一般正味財産期首残高	3,787,386	3,553,961	233,425	
一般正味財産期末残高	**3,788,381**	**3,787,386**	**995**	
Ⅱ指定正味財産増減の部				
①固定資産受贈益	0	0	0	
②基本財産評価益	0	0	0	
③特定資産評価益	0	0	0	
④基本財産評価損	0	0	0	
⑤特定資産評価損	0	300,000	△ 300,000	
⑥一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	**0**	**300,000**	**△ 300,000**	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	**0**	**0**	**0**	
Ⅲ正味財産期末残高	**3,788,381**	**4,087,386**	**△ 299,005**	

2026年度期末残高（見通し）　　（2025年度第二次補正時）

正味財産期末残高（内訳）	一般会計	**803,767**	**802,772**
	事業費予備費	0	0
	周年準備金	3,284,664	3,284,664
	合計	**4,088,431**	**4,087,436**

*貸借対照表　資産の部　参照

一般社団法人恵那青年会議所　歴代理事長

創立年月日　昭和 33 年 5 月 10 日　認定番号第 145 号
スポンサーJC　一般社団法人中津川青年会議所

初	代理事長	昭和 33 年	中神　友彦	㈱丸河興業
二	代理事長	昭和 34 年	中神　友彦	㈱丸河興業
三	代理事長	昭和 35 年	中神　友彦	㈱丸河興業
四	代理事長	昭和 36 年	安藤　健一	㈱土田屋呉服店
五	代理事長	昭和 37 年	安藤　健一	㈱土田屋呉服店
六	代理事長	昭和 38 年	古田　忠好	
七	代理事長	昭和 39 年	阿部　龍輔	セントラル建設㈱
八	代理事長	昭和 40 年	中山銀次郎	東濃魚菜㈱
九	代理事長	昭和 41 年	鈴木銀之助	カクト本店
十	代理事長	昭和 42 年	三島　　充	
十一	代理事長	昭和 43 年	松井　栄一	㈱菊水堂
十二	代理事長	昭和 44 年	山田　　基	㈱マル五鐵構
十三	代理事長	昭和 45 年	近藤　時夫	近藤電気工業㈱
十四	代理事長	昭和 46 年	小嶋　洋平	㈲菊屋
十五	代理事長	昭和 47 年	熊崎　健一	
十六	代理事長	昭和 48 年	荒川　　昇	
十七	代理事長	昭和 49 年	中山　義幸	
十八	代理事長	昭和 50 年	丸山　朝夫	㈱マルヤ
十九	代理事長	昭和 51 年	永屋　俊幸	㈲フジ
二十	代理事長	昭和 52 年	原　　謙司	
二十一	代理事長	昭和 53 年	市川　賛平	恵那醸造㈱
二十二	代理事長	昭和 54 年	安藤　和雄	㈲賀藤
二十三	代理事長	昭和 55 年	佐藤　忠男	大東京火災海上保険代理店
二十四	代理事長	昭和 56 年	加藤　孝長	ヤマトヤ
二十五	代理事長	昭和 57 年	青山　貫禅	㈱青山
二十六	代理事長	昭和 58 年	小澤　隆徳	ダスキン恵那
二十七	代理事長	昭和 59 年	舘林　正孝	㈱舘林
二十八	代理事長	昭和 60 年	田中　義人	東海新栄電子工業㈱
二十九	代理事長	昭和 61 年	木頭　　修	㈱中建
三十	代理事長	昭和 62 年	市川　康夫	市川康夫会計事務所
三十一	代理事長	昭和 63 年	山本　恵嗣	山本石油㈱
三十二	代理事長	平成元年	岩本　哲臣	㈱岩本
三十三	代理事長	平成 2 年	市川　雅敏	中部観光㈱
三十四	代理事長	平成 3 年	金子　一弘	金子建築工業㈱
三十五	代理事長	平成 4 年	西山　昌幸	西山建設㈱
二十六	代理事長	平成 5 年	阿部伸一郎	セントラル建設㈱
三十七	代理事長	平成 6 年	可知　照章	㈱エミ
三十八	代理事長	平成 7 年	岩井　慶次	㈲cetwave.com
三十九	代理事長	平成 8 年	水野　　勝	
四十	代理事長	平成 9 年	阿部　　護	セントラル建設㈱
四十一	代理事長	平成 10 年	柘植　孝彦	㈲柘植建設
四十二	代理事長	平成 11 年	小林　　稔	㈲清進堂
四十三	代理事長	平成 12 年	脇田　　誠	㈲ベスト飲料
四十四	代理事長	平成 13 年	小林　浩司	㈱リード
四十五	代理事長	平成 14 年	丸山大八郎	㈱マルヤ
四十六	代理事長	平成 15 年	高木　應浩	東栄製紙工業㈱
四十七	代理事長	平成 16 年	山内　敏敬	㈲ヤマウチ
四十八	代理事長	平成 17 年	有賀　正典	
四十九	代理事長	平成 18 年	大野　幸泰	㈱大野工機
五十	代理事長	平成 19 年	木下　晃一	㈲木下建材工業
五十一	代理事長	平成 20 年	篠田　大作	㈲シノダック
五十二	代理事長	平成 21 年	渡辺　好作	㈱銀しゃり本舗
五十三	代理事長	平成 22 年	安藤　潤也	安藤鉄工㈱
五十四	代理事長	平成 23 年	板頭　拡志	ミリオン電工㈱
五十五	代理事長	平成 24 年	加藤　規久	㈱東海技研
五十六	代理事長	平成 25 年	吉村　将明	吉村産業㈱
五十七	代理事長	平成 26 年	河原　三次	㈱丸河興業
五十八	代理事長	平成 27 年	田口　勝一	㈱エナ重機
五十九	代理事長	平成 28 年	山本　英史	㈱山本急行
六十	代理事長	平成 29 年	市川　直樹	中部観光㈱
六十一	代理事長	平成 30 年	西山　陽祐	西山建設㈱
六十二	代理事長	平成 31 年	藤下　卓己	㈱デジタ
六十三	代理事長	令和 2 年	小栗　康裕	オグリ電子㈱
六十四	代理事長	令和 3 年	後藤　知裕	㈱ごとう観光
六十五	代理事長	令和 4 年	藤井　真也	(同)おひさま
六十六	代理事長	令和 5 年	越智　信行	㈲恵那冷機
六十七	代理事長	令和 6 年	保母　達則	㈱アイギハウジング
六十八	代理事長	令和 7 年	古屋　一郎	衆議院議員古屋圭司事務所
六十九	代理事長	令和 8 年	纐纈　駿	㈱マルト建設

社団法人恵南青年会議所　歴代理事長

創立年月日　昭和 39 年 3 月 29 日　認定番号第 286 号

初	代理事長	昭和 40 年	松井　高志	㈱丸ス松井材木店
二	代理事長	昭和 41 年	松井　高志	㈱丸ス松井材木店
三	代理事長	昭和 42 年	横田　隆司	明知製陶㈱
四	代理事長	昭和 43 年	加藤　　稔	㈱加藤材木店
五	代理事長	昭和 44 年	味岡蓮太郎	
六	代理事長	昭和 45 年	川村　達也	川村工務店
七	代理事長	昭和 46 年	梅村　哲郎	明知製陶㈱
八	代理事長	昭和 47 年	成瀬　郁夫	成瀬電気商会
九	代理事長	昭和 48 年	和田　光男	明智鉱業㈱
十	代理事長	昭和 49 年	横田　晴彦	㈲エーピーエフ
十一	代理事長	昭和 50 年	平林　利一	明栄建設工業㈱
十二	代理事長	昭和 51 年	奥田　隆一	オクダ時計店
十三	代理事長	昭和 52 年	三宅　　均	㈱ヤマサ三宅材木店
十四	代理事長	昭和 53 年	西尾　和郎	丸上寒天産業㈱
十五	代理事長	昭和 54 年	松井　　真	㈱丸ス松井材木店
十六	代理事長	昭和 55 年	小木曽琢二	マルコ醸造㈱
十七	代理事長	昭和 56 年	成瀬　恭平	高成化学鉱業㈲
十八	代理事長	昭和 57 年	吉村　典男	吉村産業㈱
十九	代理事長	昭和 58 年	春日井正章	山平鉱業㈱
二十	代理事長	昭和 59 年	伊藤　敏一	伊藤繁一商店
二十一	代理事長	昭和 60 年	遠山　哲雄	遠山材木店
二十二	代理事長	昭和 61 年	加藤　正波	丸美礦業㈱
二十三	代理事長	昭和 62 年	味岡　真治	アジオカ電気店
二十四	代理事長	昭和 63 年	伊藤　誠紀	㈱伊藤商会
二十五	代理事長	平成元年	堀　　泰明	㈲明智給油所
二十六	代理事長	平成 2 年	水野　良則	㈲銭坂畜産
二十七	代理事長	平成 3 年	伊藤　辰也	とうふのつねさ
二十八	代理事長	平成 4 年	三宅　秀明	三宅畳店
二十九	代理事長	平成 5 年	西尾　修欣	ライフエナジー山岡㈱
三十	代理事長	平成 6 年	桜井　義等	朝日屋
三十一	代理事長	平成 7 年	加藤　博靖	丸カ耐火工業㈱
三十二	代理事長	平成 8 年	加藤　博史	㈱加藤材木店
三十三	代理事長	平成 9 年	木村　典彦	丸八製材㈱
三十四	代理事長	平成 10 年	川村　慎二	川村工務店
三十五	代理事長	平成 11 年	岡村　英治	岡村司法書士事務所
三十六	代理事長	平成 12 年	小木曽康裕	カネイ産業㈱
三十七	代理事長	平成 13 年	藤本　勝彦	㈲藤本商店
三十八	代理事長	平成 14 年	西尾　健志	㈲山栄
三十九	代理事長	平成 15 年	堀井　宣良	岩村城址観光㈱岩村山荘
四十	代理事長	平成 16 年	成瀬　　一	㈲成瀬電気商会
四十一	代理事長	平成 17 年	佐々木淳二	桝五寒天商会
四十二	代理事長	平成 18 年	成瀬　泰久	㈲高木クレー研究所

2026年度　会員名簿

あべ　みなと
阿部　港
会員番号：382
生年月日：1991年6月12日
入　　会：2025年

会社名称：セントラル建設㈱

いさぢ　しょうた
伊佐地　翔太
会員番号：348
生年月日：1986年4月11日
入　　会：2018年

会社名称 ㈱エポックイサヂ

いそむら　ゆうた
磯村　悠太
会員番号：357
生年月日：1994年11月20日
入　　会：2020年

会社名称：㈱Nisso保険事務所

いとう　まりな
伊藤　真梨那
会員番号：373
生年月日：1990年8月17日
入　　会：2023年

会社名称：LOUNGE REGINA

いまい　としあき
今井　俊彰
会員番号：386
生年月日：1992年10月2日
入　　会：2025年

会社名称：恵那機器㈱

かち　まさたか
可知　正考
会員番号：385
生年月日：1992年4月29日
入　　会：2025年

会社名称：弁護士法人　小山・古澤早瀬

かとう　けんすけ
加藤　健佑
会員番号：380
生年月日：1990年3月29日
入　　会：2024年

会社名称：㈱加藤材木店

からさわ　かずき
柄澤　一樹
会員番号：353
生年月日：1989年11月6日
入　　会：2019年

会社名称：㈱ハラカラ

こうけつ　しゅん
纐纈　駿
会員番号：340
生年月日：1986年12月26日
入　　会：2016年

会社名称：(株)マルト建設

さか　えいせい
坂　英世
会員番号：379
生年月日：1988年4月3日
入　　会：2024年

会社名称：宗教法人瑞現寺

たかぎ　ひでなか
高木　豪中
会員番号：384
生年月日：1995年5月25日
入　　会：2025年

会社名称：協和ダンボール㈱

てらさわ　しょう
寺澤　翔
会員番号：372
生年月日：1990年1月4日
入　　会：2023年

会社名称：すし大翔

なかしま　ゆうぜん
中島　悠然
会員番号：371
生年月日：1994年11月3日
入　　会：2023年

会社名称：明治安田生命保険相互会社
中津川営業所

にしお　じゅんぺい
西尾　純平
会員番号：365
生年月日：1997年11月21日
入　　会：2022年

会社名称：合同会社SHOCK WAVE

はしもと　ともかず
橋本　朋和
会員番号：370
生年月日：1995年12月16日
入　　会：2022年

会社名称：FC.ZEAL.ENA

はやし　たくと
林　拓斗
会員番号：375
生年月日：1993年1月19日
入　　会：2023年

会社名称：㈱トランスワン

2026年度　会員名簿

ふるや　いちろう
古屋　一郎
会 員 番 号 :350
生年月日 :1986年12月26日
入　　会 :2018年

会社名称 :衆議院議員古屋圭司事務所

まつい　りょう
松井　稜
会 員 番 号 :381
生年月日 :1992年9月9日
入　　会 :2024年

会社名称 :㈱松井急便

やまだ　けんと
山田　健人
会 員 番 号 :368
生年月日 :1991年5月13日
入　　会 :2022年

会社名称 :ファイナンシャルアライアンス㈱

やまむら　けいた
山村　啓太
会 員 番 号 :366
生年月日 :1991年9月2日
入　　会 :2022年

会社名称 :㈱かめや菓子舗

よしむら　せいき
吉村　成貴
会 員 番 号 :367
生年月日 :1989年9月13日
入　　会 :2022年

会社名称 :はなまる司法書士事務所